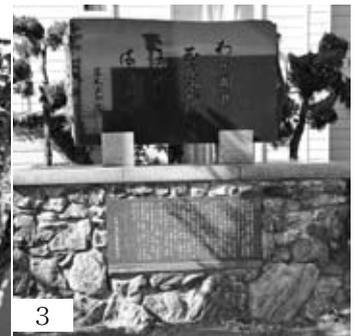




1



2



3



4

1 札幌村郷土記念館(北13東16)

3 札幌玉葱記念碑

2 大友亀太郎銅像

4 大友公園(北13東16)

江戸時代末期、**大友亀太郎**が伏籠川の上流地域（現在の北13条東16丁目付近）で開拓を始めます。これがわたしたちのまちの始まりです。この亀太郎さん、札幌建設の基軸となった**大友堀**（用水路）を造ったことでも知られています。その開拓の始まりの場所に建っているのが、「**札幌村郷土記念館**」。亀太郎さんに関する文献や農耕具、生活用具など、およそ四千点が収められており、その中のいくつかは札幌市有形文化財に指定されています。いずれも、開拓の状況、生活の様子や農業の始まりなど、当時を知ることのできる貴重な歴史的資料です。

突然ですが、東区特産のタマネギ。日本で最初に栽培されたところはどこか、知っていますか？

そう、東区なんです。記念館の庭には、それを示す「**わが國の玉葱栽培 この地にはじまる**」と刻まれた記念碑があります。東区に広がるタマネギ畑。このタマネギも先駆者の努力のたまものなのです。

記念館の裏手には「**大友公園**」。大友堀と伏籠川の合流点に造られたこの公園には、堀をイメージした遊水路や開拓の歴史などを紹介した案内パネルがあるほか、堀の流路などを示した当時の地図が地面に大きく描かれています。

皆さんも、東区の原点に触れてみてはいかがですか？

まちの原点

広告

